

2014年7月26日(土)～27日(日)

テーマ:かんきょう キャンパス・レポート2014

写真で報告…ちくご子どもキャンパス「矢部川中流域の自然観察と体験2014」

ちくご子どもキャンパス「矢部川中流域の自然観察と体験2014」

今年の夏も、ちくご子どもキャンパス体験学習プログラム「矢部川中流域の自然観察と体験2014」は、大きな事故もなく、無事終了しました。

このプログラムは、矢部川中流域の自然を観察することから、生命の大切さや人の暮らしを見つめ直すきっかけ作りとすることが主題です。

一昨年7月14日の「平成24年7月九州北部豪雨」により、矢部川流域は深刻な被害を受けました。自然観察を予定していた「船小屋中ノ島公園」も激流で酷く挟り取られ、流木が散乱し、泥土が堆積し、淡水浴が全くできないような大きな被害が生じ、昨年は立ち入ることもできませんでしたが、今年は、立ち入ることはできたものの樹皮が激流で剥ぎ取られた痕が残る大きな楠木や、未だに復旧の見通しがついていないガタガタ橋など豪雨被害の爪痕が残っていました。

このような中、まちづくりネットワークちくご では、今年も、「ちくご子どもキャンパス『矢部川中流域の自然観察と体験2014』」を自然観察体験学習の機会として、できる限り続けて提供していきたいとの思いで実施しました。

今回のプログラムは、筑後船小屋駅前からくり時計「つどいの木」で受付を済ませ、ちくご暮らし体験施設「筑恋邸」で日本赤十字社の方から生命の話を聴きました。そして、日赤の厚意により、献血車を見学した後、船小屋矢部川堤防付近の様々な生き物の観察し、筑恋邸で竹を削って、自分たちが使う竹の箸を作り、夜のセミの羽化観察や自然体験の思い出を小石に描き、体験学習のまとめとして、グループ毎に模造紙にまとめ、観察の成果骨を発表してもらいました。

普段見ることの出来ない自然の中の小さな命とのふれあいや、セミの羽化に感動し、メンバーと協力してのカレー作りや思い出を描くウッド・ストーン・ペインティング、昼食のそうめん流しといった楽しく、貴重な経験が、今後の子ども達の活動に活かされていくことと思います。

今回は、宿泊研修会場を提供いただいた筑後市をはじめ、多くの方々のご協力により開催することができました。ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

これからも、私たち「まちづくりネットワークちくご」は、自然観察会や命の大切さを考える様々な催しを通じて、水と緑と命を大切にする自然豊かな筑後のまちづくりを進めていきます。

ちょっと写真で報告します。



筑後船小屋駅

「からくり時計-つどいの木」前で受付



筑後市田舎暮らし体験施設「筑恋邸」を
拠点に「ちくご子どもキャンパス
矢部川中流域の自然観察と体験2014」
を開催



最初にオリエンテーション…

みんな真剣に…





日本赤十字社の職員による献血のお話
と献血疑似体験を実施しました。





県立八女高等学校の生物部の生徒(お兄さんお姉さん)達と仲良く、自然観察を楽しみました。





いろいろな昆虫や植物を観察することが
できました。







マイ箸(はし)づくりに挑戦！

紙ヤスリで研磨するのが難しかった!!





夕食づくり…カレーライスとサラダ！



玉ねぎを切る時に目が痛くなった!!



自分たちで作った夕食を美味しく
「いただきます!!」



自然観察会のまとめ



お兄さん、お姉さんのアドバイスを
受けながら…





船小屋鉱泉の試飲

…お味はどうですか??



平成24年7月九州北部豪雨の爪痕

橋脚も流された船小屋のシンボル

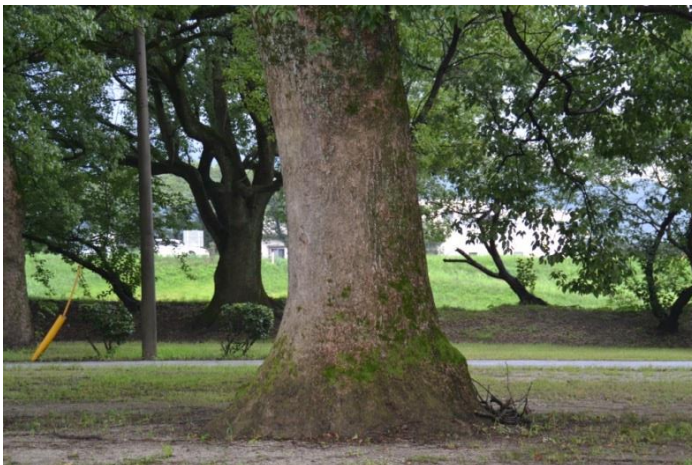
「ガタガタ橋」



大木に残された流木による傷跡



ストーンアートの石ひろい
 …できるだけ平たい石がいいよ!!



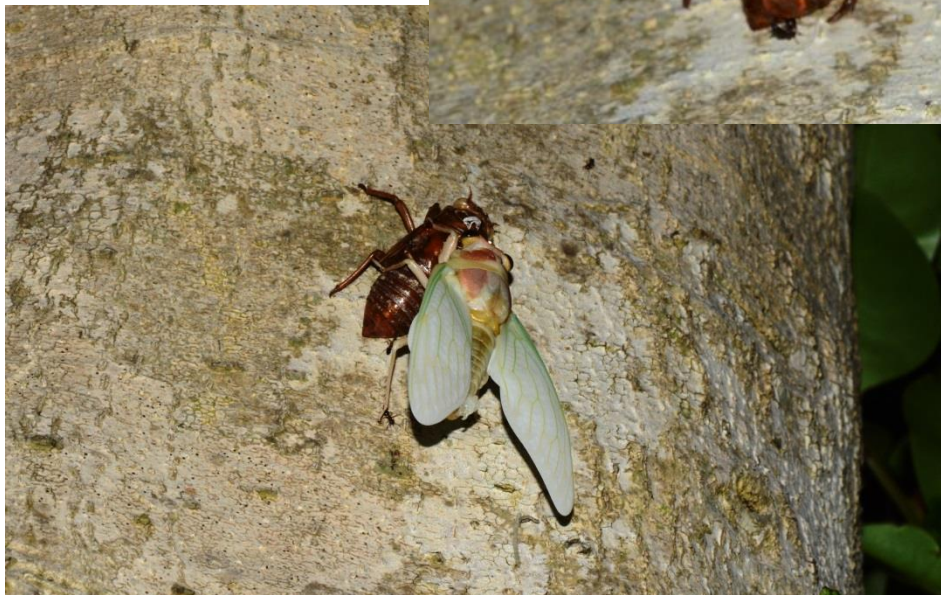
中の島公園の大楠林





セミの羽化観察

感動の一瞬!!





みんなでストーンアート作品づくり



素晴らしい作品が
続々できあがる

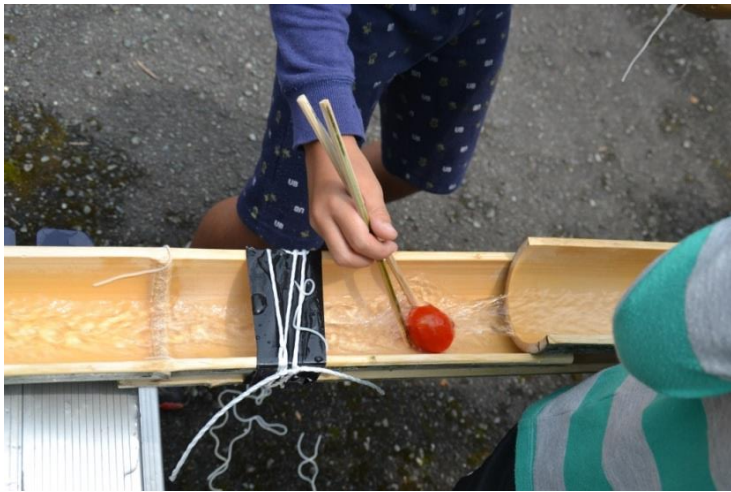




みんなで元気に朝のラジオ体操

朝の観察会でスズメバチの巣を発見
…かなり大きい！





ミニトマトやオクラも流れてくる
「そうめん流し」 お腹也大満足!!



みんなそろって、笑顔の集合写真



班ごとの写真



子どもたちが帰って、すぐに、真剣に反省会を行って、課題を出し合いました。